



農協だより

Vol.101

URL: <http://www.ja-aki.jp>

平成 27 年 1 月



新年のご挨拶

安芸農業協同組合
代表理事組合長 河野 芳徳

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

組合員の皆さま方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。

さて、農業を取り巻く環境は高齢化や鳥獣害による耕作放棄地の増加、担い手不足など依然として厳しい状況が続いております。TPP交渉も年越し、農産物重要五品目の聖域確保も不透明で今後予断を許さない状況にあります。

安芸農協におきましても「地域に根差した特産物の拡充強化」の一環として、各地域で「農林産物品評会」を盛大に開催(5会場)し、質のさらなる向上に努めております。「品評会」は農業振興において地域おこしの一番のカンフル剤です。出品点数は次の通りです。

- ① 阿戸地区 162点〔11/16(日)〕 ④ 熊野地区 670点〔11/30(日)〕
 ② 海田地区 191点〔11/16(日)〕 ⑤ 坂、小屋浦地区 324点〔12/7(日)〕
 ③ 瀬野川地区 339点〔11/30(日)〕

各会場共に開催回数を重ねるごとに品質が一段と向上し、優秀な品数が増加しております。表彰式終了後、即売会が行われ、生産者と消費者が一堂に会し、交流、情報交換等の場として盛り上がりを見せております。

7/26(土)にも「切り花品評会」を開催しており 55 点の出品件数となり立派な品も多く、出品のタイミングで一喜一憂されておられました。

その他の行事で、「親子農業体験」として収穫体験(枝豆、トウモロコシ(87名)の参加。親から子に自然に伝わる栽培技術、活力ある地域農業をめざし「食と農」を結びつける貴重な農業体験と思われまます。

また、平成 26 年度産の「米価」が過去最低の水準となる中で全農価格より「コシヒカリ」(30kg/袋)で各等級共に1,000~1,400円/袋高く優位性のある買取をさせていただきました。その結果、7,789袋の出荷協力をいただき誠にありがとうございました。

今後とも、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として頑張っまいりたいと思ひます。

本年も農家、組合員の皆さまのより一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



米の検査状況

26 年は 8 月の天候不順による生育不良や、稲こうじ病の大発生及びカメムシ類による斑点米などの品質低下などが目立ち、1 等米比率は 44% となりました。

作況指数は県南部 97 ですが J A 安芸では平年並みに検査することができました。ありがとうございました。

今年度も栽培履歴回収にご協力いただき、大変ありがとうございました。回収させていただきました履歴を分析検討し、今後の営農指導に役立てたいと思っております。来年度も引き続きよろしくお願いいたします。

名 柄	1 等	2 等	3 等	規格外	合 計
コシヒカリ	338	312	99	10	759
ヒノヒカリ	2,358	2364	852	108	5,682
JA米ヒノヒカリ	565	465	49	0	1,079
あきろまん	174	62	0	0	236
その他	5	12	16	0	61
合 計	3,340	3,215	1,016	118	7,789

農業祭開催

・瀬野川農業祭 11月29日・30日に瀬野福祉センターで開催されました。今回で11回目の開催となり、出品された農産物の荷姿が年々綺麗になっており、生産者の商品に対する意識の高さを感じました。審査は農林水産振興センター職員、安芸区職員、JA安芸営農指導員の3名で市場性、品揃えなどを考慮し入賞を選びました。今回は過去最高の339点の出品があり、審査に大変苦労しましたが、安芸農業協同組合長賞を始め合計32点の入賞を選びました。

同日、熊野農業祭も開催されました。出品数は管内最高の670点となり、他の地区同様に大変苦労しながら74点の入賞を選びました。

・坂町農産物品評会 12月6日・7日に坂小学校体育館・小屋浦ふれあいセンターで開催されました。今回で63回と歴史のある品評会で、さつまいもを始め、両会場で合計324点の出品がありました。

JA安芸営農指導員2名により審査を行いました。今年は特に立派な物が多数あり大変苦労しましたが、安芸農業協同組合長賞を始め合計98点の入賞を選びました。

